

平成10(1998)年

秋季号

NO. 37

ドナウ通信

在ブダペスト

日本人会会報

目 次

文化の秋がやってきた	2
会社紹介	4
大使館からのお知らせ	8
日本人会からのご報告	13
補習校便り	15
随 想	18
文 化	27
誰にも分かる経済解説	29
掲示板	32

文化の秋がやってきた

糠澤 和夫

文化交流関連の行事が、日程のうちに占める比重は結構高い。政治・経済の分野で政府高官と会うのは一度につき30分くらいだが、文化行事は2時間ぐらいが1つの単位だからだ。

交流といっても、大使の役は日本の文化をこちらの人に味わってもらい、その奥にある日本人を理解してもらう。さすがにするための推進役が主である。交流という以上、当然ハンガリーの文化を日本の人に知ってもらうことも重要だが、それはハンガリー側が日本にソフトを運んでいってもらう方が主で、ブダペストにいる限り、大体ハンガリー文化を個人レベルでエンジョイすることになる。

といっても、ここでやる日本文化の紹介は、どうしてもハンガリー文化との比較を頭においてなされ、また受け取るハンガリー側の頭の回路にもそれ

があるので、「交流」は必ず成立しているともいえる。

1 さて、夏休み後の最初は礼式生けで、生坊の一つのイノベーションなのだろう。琴を奏しながら生花をみせるもので、私には初めてだった。華道は、作品をみせるものが多いが、井手上先生の礼式生花では、プロセスをみせる。私が華道で好きなのは、大ぶりの枝をハサミで切るとき音である。ためらいがないところに、いさぎよさを感じる。逆に、葉や小枝をたわめる回数が多くなるときだ。見ていて、あ、ということもある。これは勿論、一般論であって井手上先生の作品についてではない。個人の趣味でいえば、葉はすらっと天を指しているのが好きだ。振り返って風情を見せたりするのは女性でいうとプロっぽい（この点はいくわしく書けない）。小生は野生の花にみとれるので、小宇宙はどうも苦手の方だが、日本文化には小宇宙に向かう精神があるので、やっぱりそれを紹

介しなければ、と自分で気合を入れている。

2 裏千家のモスクワ支部長さんがやってきて、動物園の盆栽展示場の前の庭で茶の湯をやった。今度は華道のとことちがって、舞台が高く、目線が上にあがる。ハンガリーの女性で京都で1年茶道を修行した人が客になった。はじめは一寸腰高さを感じたが、これも国際化の通過点なのだろう。とにかく、花がある。あとで、茶と菓子を観衆に振る舞っていたのだが、イス席なので、小生も家内も何となくまごつく。

「日々是好日」という掛け軸が選ばれていたが、小生の友人たちで、バブ



ルのあと、失意のどん底にある経済界の友人たちをふと思ひやった。また、小津の「東京物語」の最後のところで、老妻を失った男の夏の朝の心境がこれかな、と思った。好日は世にない。世を好日と観よう、少なくとも齒の喰いしばりを人に見せまい、ということにすらかなかなか辿りつけない。

あいさつで、華道、茶道から歌道、柔道、剣道まで道は多いが、道のつき当たり（悟りの境地）は一つという日本人の気持ちも判ってもらいたい、といっておいた。帰り道に「日本道、ハングリー道といっても行く先は1つといていいのかどうか」考えたが、腹が空いていたので、これは宿題にした。どんな道でも、空き腹では歩けぬ、というのがとりあえずの結論。

3 山海塾。ここの演し物は題がいい。大きなタマゴが割れたときは、うわっ、と声を出しそうになった。装置も簡単そうに見えて、間断なく降り注ぐ砂も乾燥させるのが大変で、通関の

問題もあって、公演ごとに調達するので大変らしい。貫流するドラマはイカルスやシジフォスの神話のように受け取れるが、むしろ、泰の兵馬俑や埴輪のようなイメージが強く頭にのこった。人物たちは小宇宙から抜け出たいようであり、自らが抱えたさらに小さな宇宙（タマゴ）への愛からは自由になれないでいる。砂のサラサラで「砂の女」も連想させる。こういうかざりを切り捨ててポリフォニックな方向に向かうやり方は俳句に似ている。「をりとりてはらりとおもきすきかな」などの蛇笏の句について仁平勝（「俳句が文字になるとき」）が「漢字による固定的な意味づけから自由になることで、言葉はその音だけを頼りに読者を大和言葉本来の語源にまで引き込む力を喚起される。そのことで言葉がメタファーを抱え込む奥行きを手に入れる」（傍線は小生）といっている。要するに、表意文字の漢字をつかうと意味がはっきりしすぎて心が遊べなくな

る。大和言葉のポリフォニックな空間であそびたいというわけだ。山海塾も、そういう空間であそんでいるのだ。主題はとてもしリアスなものが。

紙幅が尽きた。このほかに、三宅狂言会（ろうあ者による狂言）では、動きもさることながら、張りのある声で朗唱される中世日本語の美しさにききほれた。「梟山伏」なんか、今のうちにドイツにもっていけばネオナチの時代にひびかせることもできよう。「舟渡聲」なんて観客席から笑い声が絶えなかった。「六地蔵」もよかった。コーシャ・バーリントさんたちがよく縁の下の方持ち役をヴォランティアしてくれて助かっている。岩手県の人さ踊りや女流文楽（稀音会）の活動も面白かった。オペラ歌手コンクール（決勝11人のうち、日本人3人を含めアジアから7人！）についてはまた別に書く。

手島 浩平

デンソー・ハンガリー(DMHU)の紹介をさせて戴く機会を得て、大変光栄に思っています。今回は、デンソーに馴染みのない方にも理解して戴ける様、以下紹介させて戴きます。

一 デンソーの会社紹介

一 一 会社設立

デンソーは、今のトヨタ自動車刈谷工場を一九四九年十二月分社化し、自動車用部品の製造を目的に設立しました。当初、トヨタからの分社ということでトヨタ電装という名前の候補もありましたが、日本を代表する企業に！との願いから日本電装株式会社と命名しました。

一 一 二 会社概要

データは下記のとおりです。(図1参照) デンソーは現在、自動車部品業

界では、世界で四番目の地位にあり、アメリカのDELPHI、VISTEON、ドイツのRobert Boschに続いています。(図2参照) 只、アメリカの二社は、元々GM、Fordの部品事業部の独立会社化に伴うもので、実質は世界2位という位置付けであります。

図1: デンソーの概要

	単独ベース	連結ベース
売上	1兆3751億円	1兆6673億円
利益	497億円	711億円
従業員	41, 200人	57, 100人

主要製品: 自動車用エアコン等空調機器、エンジン関連制御・電装品、情報通信、FA分野、等 5000 種類以上

本社: 愛知県刈谷市昭和町1-1

日本国内工場: 12

海外子会社: 51 (内、生産会社: 37 [23ヶ国])

一 一 三 デンソーの海外進出

左記の表にあります様に、デンソーの生産会社は、全世界に三十七社あり、大半はアメリカ地域十二社、東南アジア地域十七社であります。欧州の生産会社は、十月現在で六社あり、現在四社操業しています。

欧州での生産開始前の生産拠点は、ここハンガリーを含めて二社あります。このことから、欧州は今後デンソーとしてもっとも注目している市場であると言えます。

図2: 自動車部品業界ランク (1997年)

	会社名	関連売上
1位	DELPHI	26,600
2位	VISTEON	17,000
3位	Robert Bosch	16,348
4位	デンソー	12,442
5位	アイシン精機	7,126
6位	TRW	7,030
7位	Dana	6,327
8位	Lucas	5,581
9位	Valeo	5,491

売上単位: US \$ million

一四 会社ランキング

たまたま今年十月五日付けの日経ビジネスを見ますと、市場が選んだ良い会社上位百社が載っていました。デンソーは、十二位に位置しております。社債の格付け等を中心に財務の健全さから上位に位置している訳です。

従って、デンソーに対する市場の評価からしても、また、我々自身から見ても良い会社であると思っています。

二 デーゼル事業

デンソーハンガリーは、ディーゼル噴射ポンプの生産会社ですので、デンソーのディーゼル事業から紹介します。

二一 デンソーの中の位置付け

デンソー全体から見ますとディーゼルは僅かな売上規模ではありますが、皆様ご存知のとおり、日本の消費者のディーゼルに対する印象は極めて悪く、例えば、エンジン音がうるさい、黒い煙が耐えられないといった風評があります。

日本の乗用車のディーゼル化率は10%も満たないという状況にあります。

二二 世界でのデンソーのディーゼル

製品品の位置付け

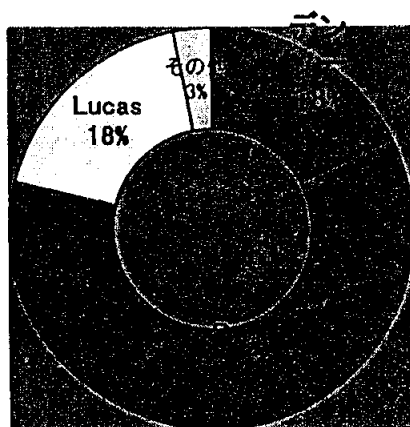
世界のディーゼルポンプ（以下はデンソーにとってディーゼルと言いますとエンジンメーカに供給するディーゼルエンジンの心臓部であるディーゼル噴射ポンプ関連部品のことをポンプと記します）のシェアを考えますと、世界の西側の部品メーカではその数僅かで、デンソーを含めても3社しか存在しません。それは、

Robert Bosch, Lucas で、大半のシェアはBoschが占めております。（図3参照）

と言いますのも、ディーゼルエンジンのその生い立ちから、ディーゼルエンジンにとってBoschの存在はなくてはならない水・空気のような存在だからです。即ち、Mr. Bosch がディーゼルエンジンの生みの親であるDr. Dieselのエンジン開発に大きく携わって来たという歴史的な経緯もあり、これまでDr. Bosch はディーゼルエンジンの発展と共にその噴射ポンプ

を供給して来たからです。

図3: ディーゼルの世界シェア



二三 欧州のディーゼル市場

皆さんはご存知かどうか判かりませんが、実は欧州はディーゼルの先進国なのです。ディーゼルエンジンの開発がここ欧州で完了したことが何と言っても大きな要因であると思います。でも本当の背景は、日本の不人気なディーゼルエンジンとは違い、欧州では車という正に移動手段を合理的異に評価しているからかと思われれます。

次ページのごとく欧州の人達は日本の

簡易コスト試算:

前提: 15万km使用

	ガソリン	ディーゼル
ガス代 円/L	100	90
燃費 L/km	8	12
総コスト 千円	1875	1125
コスト 差	750千円の セーブ	

車の使い方と違い、十五万キロ以上乗るなんて言うのは当たり前の中なので。皆さんも、そんな状況に置かれたら、当然ディーゼル車を使うと思いませんか？ 私なら当然そうします。

例えば、フランスの乗用車のディーゼル化率は既に五十%を超えています。欧州全体でも三十%を超えています。

実は、私も今回「ハンガリー」に来て、始めてディーゼルに乗りましたが、なかなか快適なものには正直驚いています。でもこれが、デンソーのポンプになるともっと快適になるということは言うまでもありません。是非、皆さんもディーゼル車を使ってみては如何ですか？

ーゼル車は確実に進歩していますので。

二ー四 環境問題に伴うディーゼル

事業の転機

既にご存知の方もあるかも知れませんが、世界の人々の環境に対する関心は高まる一方で、例えば日本が議長国をやった環境問題京都会議で各国に将来の二酸化炭素削減計画を策定させるなど良い一例であります。

そういう中、世界中の各国政府は、自動車の排ガス規制を一層厳しくするといった処置を取っております。ディーゼルエンジンに対しても全く同様で、日本では九七年より長期排ガス規制として、欧州では二〇〇〇年規制ユーロIIIとして一般化しつつあります。

実はこの規制により、今度のエンジンでは従来日本であつた様な黒煙ですとか、エンジンの嫌な音は全くと言って良い程なくなります。皆さんにも、この生まれ変わったディーゼルエンジンを是非体験して貰えたらなあと思います。

三 DMHU デンソーハンガリー

の生い立ち

三ー一 いきさつ

弊社のお客様は、GMのディーゼルエンジンの基本供給元であるとの認定を受けた、言わばディーゼルエンジンの世界一を目指している会社であります。そういう中、二〇〇〇年規制に合致したディーゼルエンジンをポーランドで現地生産することが決定され、現在九九年六月立ち上げを目指しています。

一方、デンソーは、ディーゼルの先進国である欧州市場への橋頭堡を築き、何とかディーゼルポンプ市場での更なる発展の為、欧州進出のシナリオを検討しているところでした。

そんな中、世界でディーゼル市場を拡大する為、ポーランドのお客様へのデンソー製ポンプの納入が決定した訳です。きつとDMHUのポンプを使って、クリーンで燃費の良い素晴らしいエンジンになると思います。

三ー二 DMHUプロジェクト

そういった中、大至急DMHUプロジェクトを発足させ、私も九七年四月より参画しました。月には多数の欧州の候補先から多くの優位性からハンガリーの地を決定しました。

私が最初にハンガリーの地を踏んだのが、九七年の五月の終わりで法令等の調査を実施し、同七月には会社設立・記者発表・地鎮祭を行いました。地鎮祭には、私が神主の役を拝し、安全祈願を行うという珍事？までありました。

私と長尾副社長が九七年九月、加藤副社長が十月に赴任し、その後、年が明けてから藤谷社長が赴任し、九八年十月現在十七名の日本人出向者(内、四名とその家族はセーケシュフェールバール市に住んでいます)と六十五名のハンガリー人が在籍しております。

八月末に建屋が完成し、現在は新しいオフィス・工場で楽しく、バリバリと仕事をしている今日この頃です。

三 DMHUの高いハードル

我々のこのハンガリープロジェクトは

数々の色んな新規性があり、大変な困難さが待ち受けています。例えば、

- ① 海外進出が初めての製品
 - ② 納期が短い(生産は僅か2年の猶予)
 - ③ 初めての国(中欧への初投資)
 - ④ 高い現地調達率の達成
- 等、数え始めたら、切りがありません。でも、この高いハードルを乗り越えてこそデンソーの真価があると信じて頑張っています。でも皆さん、デンソーのことでずから、必ずやり遂げますヨ。

まあ見て下さい。

DMHU概要:

正式会社名	DENSO Manufacturing Hungary Ltd.
会社設立	1997年 7月15日
株主	DENSOグループ
投資規模	DEM 150百万
場 所	Sóstó Industrial Park, Székesfehérvár, Hungary
量産開始	1999年 5月
従業員	500人(2001年フル生産時)
生産数量	23万台/年
土地面積	15万m ²
建屋面積	2万6千m ²

四 終わりに

多分、皆さんの周りもそうだと思えますが、まだまだ日本の方々のハンガリーに対する認識はゼロに等しい訳です。もともと日本の方々にハンガリーの良さをアピールしていきたいですネ。

私にとってこのハンガリーは、アメリカに続いて2度目の海外生活で、未だ僅か一年程度しか住んでいませんが、この生活は凄く面白いと思います。

と言いますのも、アメリカ時代は本当のアメリカのど田舎(これが本来のアメリカである)と信じて疑わない)に住んでおり、大変不自由な生活(例えば日本食・娯楽・観戦スポーツがない)を余儀なくさせられましたので。

私は、ハンガリーとその人々を尊敬し、楽しく仕事をしたと思っています。ここDMHUを通じ、ハンガリーの発展に貢献できる様、皆さんと共に頑張っていきたいと思っています。

最後になりましたが、皆様への感謝とお礼の気持ちをお伝えして会社紹介を終わりにさせていただきます。

大使館からのお知らせ

大型文化行事の御案内

1 ジャパン・ウィーク

国際親善協会主催のジャパン・ウィークが、11月17日（火）から22日（日）までペシユティ・ビガドーで開催されます。行事内容は、各種展示、舞台公演、茶道、ワークショップ、合唱フェスティヴァルなどです。オープニング・レセプションは、17日（火）の18時から開催され、また、18日（水）以降は、展示関係が午前10時から、舞台公演・実演等のデモ関係は18時半から、21日（土）及び22日（日）は展示も含めて13時半から各々開場、開演が予定されています。入場は無料です。

2 オペレッタ公演

日本オペレッタ協会主催で、レハールの「微笑みの国」の公演が（日本語で公演、ハンガリー語の字幕が出ます）、11月17日（火）及び18日（水）の各々20時からブダペスト・オペレッタ劇場で予定されています。指揮者は、第8回MTV指揮者コンクールで優勝、今秋よりソンバトヘイ市のサヴァリア交響楽団での活躍が決まっている井崎氏です。

ハンガリーに在留されており、入場チケットを希望される方に対しましては、先着200名様まで無料招待を予定していますので、チケットの希望枚数、希望者名を明記し、氏名、住所を記載した返信用の封筒を同封の上、当大使館の広報・文化班まで郵便でお申し込み下さい。

郵便の宛先は、

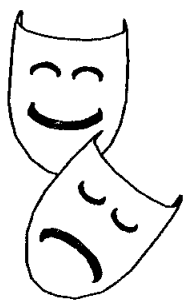
「Embassy of Japan, Section of

Culture and Public Relations

1125 Budapest, Zalai út 7.」

です。

なお、チケットを入手された後に、当日の都合がなくなつた方は、大使館まで御連絡下さい。



困ったときの領事の役割

在外公館の領事の役割には、様々なものがありますが、海外における日本人を援助・保護することは、領事に課せられた重要な任務の一つです。

領事のできること

●事件・事故の被害にあい、自助努力のみでは対応できず、かつ、緊急な対応を要する場合には、関係当局との連絡などを行う一方、親族に対し直接または外務省（邦人保護課、TEL(代)03-3580-3311）を通じて連絡をとり、事件・事故の概要を通報するとともに、現地における事件・事故に関係する法律制度や手続きなどについて援助・助言を行います。



領事館に連絡するよう要請することが重要です。

●病氣、特に緊急入院したような場合には、個別の事情を考慮しつつ適切な助言などをするとともに、医師より病状などを聴取し、その結果を必要に応じて親族または知人に直接または外務省を通じてお知らせします。

●所持金を紛失し、自分自身ではどうしても連絡ができず、当面の生活がままならない場合で、かつ緊急止むを得ないと領事が判断した場合には、領事が直接または外務省を通じ親族や知人に航空切符の手配や金銭的援助の依頼を連絡します。

●親族や知人による援助が困難な場合で、かつ法律に定められた要件を満たすと領事が判断した場合には、最後の手段として、外務省の承認を得て日本までの帰国旅費を貸与することができます。

●刑事被告人または被疑者などとして逮捕・拘禁されている日本人については、本人及び関係当局と緊密な連絡を保つとともに、必要に応じて親族、知人と直接または外務省を通じて連絡を行います。さらに要請があれば弁護士リストを提供します。ですから、万一逮捕・拘禁された場合には、現地警察当局などに対し日本の大使館または総

●海外にいる日本人が、所在の調査に
関する親族の自助努力にもかかわら
ず、おおむね6ヵ月以上音信が途絶え
ている場合には、領事は親族の依頼に
基づき、外務省の指示によりその所在
確認のための調査を行います。

●送金方法に関わる助言を行います。

●旅券の発給などを行います。

●戸籍・国籍関係の諸届を受理しま
す。

●身分に関する証明、在留証明など各
種証明書を発給します。

領事のびきないこと

○宿泊費、入院・治療費、航空切符
代、その他の個人的負担を立て替える
こと、またその支払いを保証すること

はできません。

○旅行業者、航空会社、銀行、弁護
士、探偵、警察または病院の業務や役
割を担うことはできません。

○犯罪の捜査や被疑者の身柄拘束はで
きません。

○逮捕・拘禁された場合の通訳または
弁護士費用、保釈費用、訴訟費用の
支払いの保証をすることはできませ
ん。

○紛失物の搜索はできません。

○入国許可、滞在許可や就労許可の取
得を本人の代わりに行くことやその便
宜を図ることはできません。例えば、
「移民局から入国を拒否されたので、
入国が許可されるよう先方と掛け合っ
て欲しい」との依頼にはお応えできま
せん。

主要関係機関リスト

最近、大使館に「警察にはどう行ったらよいですか」、「翻訳局はどこですか」、「ハンガリーのビザの有効期限が切れてしまったので何とかして下さい」、「外国人管理局はどこですか」といった問い合わせが非常に多くなっております。そこで領事部では、ブダペストの主要関係機関の「住所及び電話番号リスト」を作成しました。詳細については「主要期間所在図」を併せてお知らせしますのでご利用ください。

なお、在外公館の領事部役割は後記のとおりとなっておりますのでご承知願います。

Ministry of Foreign Affairs

Code	Address	Telephone
1027	II. Bem rakpart 47.	458-1000

Country Police Headquarters (ORFK)

District	Code	Address	Telephone
XIII.	1139	Teve u. 6.	343-0034, 343-1034

Budapest District Police Stations (Kerületi Rendőrkapitányságok)

District	Code	Address	Telephone
I.	1013	Pauler u. 13.	375-8722
II.	1024	Rómer Flóris u. 6.	212-2675
III.	1036	Tímár u. 9/a	250-2320
IV.	1042	Árpád u. 87.	369-3500
V.	1055	Szalay u. 11-13.	302-5935
VI-VII.	1076	Dózsa György u. 18-22.	322-7880
VIII.	1084	Virág u. 36.	210-1260, 313-1210
IX.	1096	Haller u. 7-9.	215-1460, 215-1560
X.	1102	Harmat u. 6-8.	261-8634
XI.	1113	Zsombolyai u. 4.	466-7833
XII.	1122	Maros u. 3.	355-6766
XIII.	1135	Szabolcs u. 36.	270-3511, 350-3511
XIV.	1143	Stefánia út 83.	383-4380
XV.	1152	Széchenyi tér 1.	307-7700
XVI.	1163	Veres P. út 101.	407-8455
XVII.	1173	Ferihegyi út 79.	256-3823
XVIII.	1183	Üllői út 436.	290-9258
XIX.	1192	Ady E. út 29.	282-9890
XX. & XXIII.	1204	Török F. u. 78-82.	284-6851
XXI.	1211	Szent Imre tér 23.	277-7777
XXII.	1221	Városház tér 7.	226-0022

Immigration Administration, Budapest Police Headquarters (KEO BRFK Igazgatásrendészet)

Code	Address	Telephone
	Városligeti fasor 46-48.	352-7183

Embassies

Country	Code	Address	Telephone
United States	1054	V. Szabadság tér 12.	267-4400
Bulgaria	1062	VI. Andrásy u. 115.	342-2704
Slovakia	1147	XIV. Gervay u. 47.	251-5650
Poland	1068	VI. Városligeti fasor 16.	342-8135
Romania	1146	XIV. Thököly u. 72.	352-0271

American International School of Budapest

	Code	Address	Telephone
Upper school	1121	Konkoly Thege u. 196.	275-5192
Lower school	1121	Kakukk u. 1-3.	275-4273 395-2176

Japanese Supplementary School (c/o Móricz Zsigmond Gimnázium)

Code	Address	Telephone
1025	Törökvész út 48-54.	200-8856

JICA-HPC

Code	Address	Telephone
1146	Hungária krt. 179-187.	343-9727, 343-1929

JICA-JOCV

Code	Address	Telephone
1075	Károly körút 117/A	269-7884, 269-7885

JETRO

Code	Address	Telephone
1051	Bajcsy-Zs. út 12.	266-7687

Japan Foundation

Code	Address	Telephone
1027	Horváth Mihály u. 14-24.	214-0775, 214-0776

Translation Bureau

(Országos Fordító és fordításhitelesítő Iroda)

Code	Address	Telephone
1062	Bajza utca 52.	269-5730

日本人会からの報告

日本人会補習校共催大運動会

(9月13日)

“明日天気になーれ”という願いも虚しく、9月13日雨の朝を迎え、今年の大運動会は体育館での開催となりました。

屋内での競技ということで盛り上がり、の欠けるのではという懸念とはうらはらに、子供達の溢れる活気と、それに負けない位の大人の闘志あふれるパワーによって、例年とは違う盛り上がりを見せたのでないでしょうか。

ある人は日頃の運動不足解消に、ある人は親としての威信にかけ、またあくまでも賞品の獲得を迫及する人、昨年のナンバーワンの地位を守ろうとする人、それを狙う人と様々な思惑の中、大きな問題も無く運動会は幕を閉

じました。

今年は新種目として“チャンスをつかめ”、うずまきリレー”を設けました。特に“うずまきリレー”は棒が折れるほどの迫力とフンガロリングのF1を彷彿させるスピードで、観ている方もはらはらした程でした。

そのすぐ直後に行われた800m走は、200mの差が大きすぎたのか、それとも女性が強くなったのか、上位は女性陣が占めました。いつもの方もいらっしやるかもしれませんが、たまには女性の後ろを走るのも良いのでは。

当日は生憎の天候にも関わらず、たくさんの方々にお集まり頂きまして誠にありがとうございました。ご協力頂きました皆様方に心より御礼申し上げます。

特に1日中声を張り上げて大会に華を添えて頂きました富永さん、事務局の酒井さん及び運動部の皆様、誠にありがとうございました。

第2回ソフトボール大会

(10月4日)

運動会に引続き、またもや雨かと思われた第2回ソフトボール大会も、皆様の熱気により持ちこたえ、白熱した11試合が繰り広げられました。

今回は、前回単独チームで出場した大使館が人数ぎりぎりということもあり、学校・一般チームと合流、かわりにデンソーが新チームを結成し、合計8チームで争われました。点差が大きく開いた試合も多かった反面、最終回の大逆転劇や、さよならホームラン等大接戦もあり、チーム力の二極化が見られたのが、今大会の傾向だったと言えますでしょう。また、女性が大きな戦力となったのも今回の特徴ではないでしょうか。

結果は次の通りでした。

一位 大使館・補習校・一般チーム

二位 スズキAチーム

三位 商工会Bチーム

スズキAチームの二連覇を阻んだ大使館・補習校・一般チームは昨年の春以来、三大会ぶりの優勝であり、五本塁打にてホームラン賞を獲得したブダペストのマグワイヤ、スズキAチームの神谷さんはなんと三大会連続のホームラン王となりました。

今年度より行われている子供用の試合では、前回のような大量得点にはならず、これもまた緊迫した試合となり観客を楽しませてくれました。

一人でも多くの子供達に、野球・スポーツの楽しさがわかって頂ければこの上ない喜びです。

本大会をもって、今年度の商工会運動部の活動が終了しましたが、運動部員のはじめ、たくさんの方々に協力頂き誠にありがとうございました。

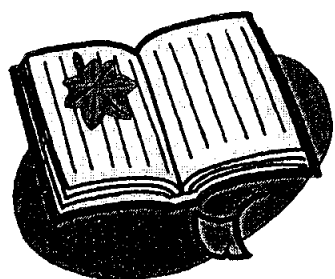
補習校便り

ゆく雲、吹く風のそよぎにも秋の気配が感じられる季節となりました。補習校では一か月の長い夏休みを終え、八月三十一日より二期が始まりました。久しぶりに子どもたちの元気な声もどってきて、我々教員もはりきっています。また、新たに九名の転入生をむかえ、五十二名のにぎやかなスタートとなりました。

九月十三日、二期最初の特別活動として大運動会を行いました。あいにくの天気でしたが、子どもたちの活躍と日本人会の皆様の御協力により、無事終了することができました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。中学生はリーダーとしてよくチームをまとめ、また、それぞれが協力し、持てる力を精いっぱい発揮できたことと思います。練習時間が取れなかったものの、本番では例年以上にはりきる子どもたちの姿が



見られました。また、ヴィラーニユシユ小学校の招待も毎年恒例になりつつあります。ハンガリーの子どもたちも初めての競技に、前の子たちがするのを見ながら一生懸命コツをつかんでいました。そして、補習校の子どもたちも勝って一等賞になる子もたくさんいました。子どもたちの中で評判がよかったのは、新種目の「うずまきリレー」でしょうか。個人競技ではなくグループでやり遂げるという成就感が新鮮だったのかもしれませんが、とにかく勝っても負けてもメダルを誇らしげにさげた子どもたちの笑顔が印象的でした。日本では考えられない、せまい体育館での開催もまた、家族的な温かさがあり、思い出に残る運動会になったと思います。



先日、仲川教諭が在外教育施設研修会にて日本の教育の最新情報を研修してまいりました。二〇〇二年から完全学校週五日制と新教育過程を実施予定で、今教育界も大きな転換期を迎えています。子どもに「生きる力」と「ゆとり」という指針のもと、思考力・判断力・表現力の育成、個性の伸長、基礎・基本の徹底は、学校教育の重要な柱として位置づけられています。我々も日々研鑽を重ね、子どもたちの支援に努めてまいりたいと思います。

運動会

三年 尾崎 雄人

ぼくは、3日前運動会をしました。

最初はたんきよりきょうそうをしました。4位でした。

パン食いきょうそうでは、1位だったけどいきなり4年生にぬかれました。くやしかったけどパンはおいしかったです。

つなひきは全力でひっぱったおかげで勝てました。

玉入れは1回目は負けたけど2回目は勝ちました。

うずまきリレーでは最初にコースをまちがえたから負けたけど、いっしょに負けた青チームには勝てました。

おべんとうを食べたとき、体のつかれがふしぎに一気にとれました。チャンスをつかめるときはたんきよりそうと同じ4位になりました。

こんごうリレーは2回やりました。

けっこうつかれました。

フォークダンスの時はうまくおどれてよかったです。

くじびき二人三きやくはハンガリー人とうまくテンポが取れたけど恰恰は2位になりました。

いろいろあった運動会だったけどとても楽しかったです。

楽しかった運動会

四年 佐藤 美南

9月13日の朝は雨でした。今日は運動会なのにいやだなーと思いました。

外ではできないので、体育館の中でやりました。

初めは徒競走。私は徒競走が大きらいなので、順番を待っている間、私はおそいからビリになりそうだなあと考えていました。そして私たちの番が来てピーッとしました。でもすぐに走りだしましたがだんだんおそくなってしまいました。とうとうビリになりました。

でも二人三きやくは、ちがいました。私の組は、ななえちゃんと私がいはいはハンガリー人でした。スタートしてふうとうを開けてみるとみどりのかみができました。それで、ななえちゃんもみどりでした。私はあわてておじさんにひもをむすんでもらいました。私たちはころびそうになりました。がいっしょうけんめいに走りました。そして、1等になっていました。「やったあー！」と思いました。今年初めてのリボンをもらいました。うれしかったです。午後からのうずまきリレーも楽しかったです。白組が赤、青、黄色の組に勝ちました。最後のせいせきは赤組と黄色の勝ち。そして白と青が最後になって金メダルのかわりに銀メダルをもらいました。楽しかったです。



大運動会

四年 手島 慎平

ぼくが補習校の大運動会で心に残ったことは、たんきよりと二人三脚とこん合リレーBとチャンスをつかめです。たんきよりではさいしょは1位だったけど、カーブですべていっきにどべになりました。とてもくやしかったです。がんばろうと思って本気で走ったら2位でした。でも本当は1位だったのが2位だったから、くやしかったです。チャンスをつかめでは、ぼくがカードを取ったら2と書いてありました。2のコーンをさわったらダッシュで走りました。前の人が一人いました。でも、結果は2位でした。1位の人のカードには、1と書いてありました。このチャンスをつかめでは、ぼくは運だと思いました。

あと、二人三脚ではカードをひいたのは赤色でした。ハンガリー人と走り

ました。1、2、1、2、とハンガリー人が言いました。いきが合いしました。その結果1位でした。とてもうれしかったです。こん合リレーは外でやりました。ぼくは1番に走りました。おなががいたかったけど、思いつきり走りました。5人の中で3位でした。速い人と走って3位だったのでうれしかったです。ぼくたちのチームは1位でした。そして運動会が終わり、いろいろなものをもらって帰りました。とても楽しい運動会でした。



初めての金メダル

五年 橋本 輝久

「9月13日」。カレンダーを見たばかりは、

「今日は、運動会だ。」

と言った。と思ったらそれは夢で、起きて時計を見てみたら7時ぐらいでした。（ほんとは、おぼえていません。）すぐに着がえご飯を食べて車に乗って行きました。着いたときには、もういろんな人が来ていました。ぼくが一番好きな競技は、混合リレー（AとB）です。ぼくはいっしょうけんめい走ったので、なんとかかかれずにすみました。最後に金メダルがもらえました。初めてほんとにピカピカ光る金メダルをもらいました。

随 想

モスクワの夏

石 嶋 弘

ハンガリーに始めて来たのは1991年の夏である。目的はハンガリー語の修得であった。当時すでに二十四歳。なぜそんな年でこんなところに来たのかと思う人は多いだろう。ハンガリーに来るまでは、日本のゴルフ場で研修生をしていた。とにかくゴルフだけに集中し、一年363日(大晦日と元旦は休みであった)朝から晩までゴルフ場で働きながら練習していた。何年も頑張ってみたのだが、第一段階(全部で六段階)のプロテストにも落ちてしまったので、それを機会にゴルフの道はきっぱりとあきらめた。何か他の日本人ができないことをやってみようと思ひ選んだのがハンガリー語である。ハンガリーに来てから始めの二

年間はハンガリー語を学び、その後は外国貿易大学に二年間在籍し、その間にハンガリー語国家上級試験に合格した。三年前から現在のブダペスト経済大学で国際経済学を専攻している。(ブダペストには私の他にもう一人石島君という人がELTE大学で学んでいます。)ここでの授業は全て英語である。また、二年ほど前からロシア語を始め、去年と今年は夏中モスクワにいた。

ようやくここで本題に入るわけだが、まず「モスクワの夏」という題名からするとモスクワ旅行でも楽しんできたのかと思われるかもしれないが、実はプシユキン大学(Pushkin Institute)というところで外国人を対象としたロシア語の夏期講習に行ってきたのである(もちろんこれも楽しんだ)。この大学はロシア語教師を養成することを主な目的とし、夏期講習は修士課程や博士課程の学生(学生と行ってもあまり若くない)の小遣い稼ぎの場である。もちろん学生ばかりが

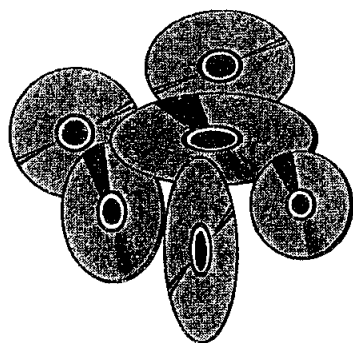
教えているわけではなく、経験豊富な正式な教師もいる。去年初めてロシアに行ったときは、初めてハンガリーに来たときよりも緊張した。というのも、ハンガリー人はロシア人に対して相当偏見を持っているらしく、「スターリン時代に親から離れ、優しさを持たないように教育された連中が今国を動かしている」などと出発する前にさんざん脅かされたのである。ところが、一部の政治家や「ニュー・リッチ」はともかく、一般の人々はやはりどんな国でも親切だ。街中できよろきよろしていると「May I help you?」と(実際は何語で話しかけてきたのかわからない)助けてくれる人がいる。ここでいちいち細かいことは書かないが、色々なことからロシア人のハンガリー人にも負けない勤勉さや正確さが感じられた。



モスクワに行っても驚くことは、豊富な商品と物価の高さだ。とにかく何でもある。体制転換開始前後の物不足のイメージがまだ少し残っていた自分には信じられない光景であった。高級なものを売っている奇麗な店がいくらでもあるのだが、特にすごいのはまだ完成して間もないマニエジュナヤ広場(Maniyuzhnaia Ploshch, 赤の広場の横)地下三階建てのショッピング・モールだ。ブランド製品の店が少なくとも百軒以上ずらりと並んでいる。もちろん値段段も一流だ。壁も通路もピカピカで観光客はいるのだが、あまり買っているようには見えない。いったい誰が実際に買うのだろうかと思議に思う。確かに電気製品などの品揃えはいまひとつだが、とりあえず欲しいものはすべて揃いそうだ。

しかし、地元の人々の生活を知ろうと思ったらやはり観光スポットではなく、場末のスーパーや市場に行くべきだろう。私の場合は大学の寮で自分で料理をしなければならなかったので、

こういう場所はよく観察できたと思う。大型スーパーでの買い物は安上がりと思うのが普通だが、ここではそうでもない。私のような留学生には学費や交通費が決まっているためこういうところで節約しようと思ったが、安いものがなかなか見つからない。大学の先生に聞くと、地元の人にとって食品類は市場で買うのが常識らしいが、いんちき商品の話を耳にするとどうしても恐くて市場では買えない。また、高



級ショッピング・モールは当然ながらスーパーでも市場でも輸入品であふれている。お菓子類などはロシア製のものを見つけるのが難しいくらいだ。

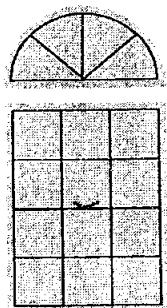
もう少し市場の話をすると、モスクワには色々な市場がある。動物市場もそれなりに面白かったが、なんとも不思議なのは一般に「CD市場」と呼ばれているものである。行ってみると小さな屋台の店が公園の道に沿ってひしめき合っている。それぞれの店で数十枚から数百枚の音楽CDやCD-ROMを売っている。音楽CDでは新品もあるが、コンピュータソフトは中古のほうがはるかに多い。今はレートが違うのでドルでいうと、音楽CDが一枚3ドル、CD-ROMは一枚5ドルと相場が決まっている。ところが驚くのは値段だけではない。よく見みると、一枚のCD-ROMにウィンドウズ98、オフィス97、インターネット・エクスプローラ5.0、WinZip6.3、RealPlayer5.0Plus、Norton Utilities、などなど、およそ一般の

パソコンユーザーが必要としているものはすべて入っている。また、世界の百科事典の中で最も優れているといわれるBritannicaが三枚セットのCDでたったの15ドル（要するにこれも一枚5ドル）で買える。CDを見ながら市場を更に奥へ奥へと進んでいったのだが、なかなか終わりが見えてこない。しばらくするとようやく雰囲気が変わり、今度はビデオばかりになり、これまた相当な数だ。ビデオにしてもCDにしてもこれらのソフトは明らかにコピー版であり、それと知りつつ買って利用するのも犯罪になるであろう。私を買ったか否かについてはあまりに些細なことなのでここでは触れないでおく。

最後にルーブル切り下げについても書いておきたい。おそらく、これが誰もが最も興味を持つテーマではなからうか。私は7月と8月いっぱい滞在していたので、ルーブル切り下げの時にはまだ現地にいた。ロシア語のニュースがまだよくわからず、毎日外国語の

新聞が買えるほど裕福でない私は、秋葉原で六千円で買った短波ラジオで雑音に混じりながらかすかに聞こえるラジオ・ジャパンやVoice of Russiaを聞いて情報を得ていた。モスクワに立つ前に、エリツインと橋本総理が手をつないで歩いているのを見て「エリツインなんか日本はだまされてはいけない」とよく口にしながら、8月14日の金曜日にエリツインの「切り下げは絶対にしない」との発言を信じた自分が情けない。ロシアの輸出が主にドル建ての燃料資源であることや、1997年の消費者物価上昇率が10%前後で、7月までの数か月は事実上インフレなしと聞いていた私は、残りの滞在に十分なお金を両替したのだが、三日後の月曜日にはもう切り下げ。大学で「国際経済学」を学んでいるわけがようやくよくわかったような気がする。さて、このような経済対策が実際の生活でいつ頃どのように現れてくるのかは外国で新聞を読んでいるだけではなかなかわからないだろう。すさまじい量

の資本が国外に脱出している中で、街中の両替所のレートもすぐ変わるかというところでもない。ハンガリーのロリング・ベッグ（定期的な切り下げ）に慣れていた私には「ちょっと安くなったかな」ぐらいにしか感じられなかった。ところが、4、5日経つとスパーの一部の商品（もちろん輸入品が中心）がびっくりするほど高くなっている。一週間ほど経つと他の商品も高くなり始めた。両替所のレートもその頃にはかなり変わっていた。そうこうしているうちにハンガリーに帰国する日がきた。国際経済学専攻をいいことに、みんなに両替を薦めていた私は、彼らに別れを告げずに帰ってきた。友人を失った責任はエリツイン（または彼の後継者）に2000年の大統領選挙でとってもらおう。



旅は道連れ…

キッシュ・G・レイカ

観光旅行と言うと皆様の頭に浮かぶものはなんですか？色々な国の素敵な町並みやおいしい料理ですか？

私は日本人相手の観光ガイドを始め、早8年が経ちますが、最初に頭に浮かぶのはお客様とのふれあいです。ハンガリーに來られる日本人観光客の数も毎年確実に増えていますが、本当に色々な方々が來られます。そして短い旅行の間にも、きっと故郷ではありえないようなドラマが起こります。

例えば通じない外来語の場合

一人の日本人旅行者が喫茶店に入ってきました。見ていると、さっそくやってきたウェイターに注文をと、こう言います…「ワン・ホット！」けれども何度繰り返してもウェイターに通じないようです。そう、ハンガリーでは

「ホット」だけでは「熱いコーヒー」が出てくる事はありません。「ノーマル・コーヒー」と頼まれる方も非常に多いのですが、これも誤解を招きます。ハンガリー国内どこに行ってもこのご注文ではとてもきついエスプレッソが出てきます。普通は普通でも、国の習慣の違いで、「普通」も土地によって意味が違ってきます。お客様がほしかったものはハンガリーにおける「アメリカン・コーヒー」だったので

通じた外来語の場合

某ホテルでの出来事です。お部屋にチェック・インしたお客様がさっそく降りてきて、ロビーにいるボーイさんに次の文句を言っています…「デイスコライト・イン・バスルーム！」（風呂場にデイスコライト）すごい剣幕で何度も繰り返しますので、何が問題かとボーイさんが部屋へ上がってみますと、なんと、バスルームの蛍光灯が切

れそうで、チカチカ光っているではありませんか。「なるほど、デイスコライトですね！さっそく取り替えましょう。」

病院での早とちりの場合

残念ながら旅行中に時々ケガが起こります。どんなに注意していても、雨で濡れた石畳や、歪んだ階段は危険がいっぱい。滑ってしまって、足首を捻挫してしまったお客様を病院にお連れした時の事です。救急手当てが終わった時、お医者様から色々と注意事項を聞いている最中にお客様の耳は次の言葉をキャッチ…

“ I G E N ” （ハンガリー語で「はい」）

お客様はびっくりして「え、胃がなんですか？」

いえいえ、大丈夫ですよ！くれぐれも足元にはご注意ください！

添乗員とお客様、日本語は難しいね！
の場合

添乗員さんはお客様と出身地が違う
事はよくある話ですが、たまに面白い
誤解が生まれます。

ヨーロッパではバスでの国境越えは
よくある事です。国境警備兵がバス
に乗り込み、パスポートを一人ずつチ
ェックして行くのですが、ヴィザが必
要だった時代は色々と手続きがあり、
本当に時間のかかる作業でした。や
っと一通り終了し、バスも出発した
時、大阪出身の添乗員さんがマイクを
握りこう案内します「皆様、パスポー
トをなおしてください。」東京のお客
様はびっくりして、「え？どこか直す
んですか？？」大阪では「なおす」
とは「しまう」意味なのですね！方言
は毎回毎回とても勉強になります。

ガイドさんにとっても日本語が難し
いーの場合

地方のお客様のご案内をする事はし
ばしばあります。

「お忘れ物がない様、ご注意ください
い。」と一日の間に何度、言う機会が
あるのでしょうか、数え切れないです
ね。ある時、女性のお客様がバスの座
席にびっしり詰まったビニール袋を忘
れてしまいました。走って届けます
と、「それはいらなから、ほっとい
て」と言います。「ああ、そうですか
」と座席に戻すと、バスに乗る前に「
ほっといてと言ったじゃないですか」
と言われてしまいました。「ええ、座
席にありますよ！」

そうじゃなかったのです。お客様は倉
敷市のご出身。「ほっといて」とは「
捨てておいて」だったのですね。日
本語は大変難しいです！

ガイドダンスの言い間違えも楽しみのう
ちーの場合

1 外国人にとっては日本語はいつま
で経っても難しいですね。特に緊張し
ている時や、疲れている時は変な言い
違いや発音の間違いがどんどん出てき
ます。いやぁー、本当に恥ずかしい思

いをするところがあるのです。まだガイ
ドを始めて間もないころ、何度も次の
間違えをしたような気がします。

英雄広場の案内で…
「そして1242年に蒙古班の襲撃が
ありまして…」ある時一人のお客様が
そっと言いました。「もしかしたら蒙
古軍ではないのですか。」

その通りです。何度「おしりの青いあ
ざ」が襲撃をしたと言ってしまったの
か、考えるのも本当に恥ずかしいで
す。

2 ど忘れもよくある事。ゲレルト温
泉の入り方…「温泉に入られる方は必
ず、ええと、ええと、ええと、海水パ
ンツをはいて下さい」水着と言う言葉
がどうしても出てこなかったのです！

3 「お手洗いはどこですか？」と言
う質問は何度出てくるのでしょうか。

そうしたある日、こう案内してしま
いました…漁夫のトイレ（皆の間違
い）からはすばらしい景色が見られま
す。」

4 「サーカスの隣はブダベスト幼稚

園（遊園地）です」

「ドナウ川に架かっている橋はココンツツ（九つ）」

そして「くさり橋」は腐ってもいなければ、「ドナウベンド・ツアー」は弁当が出るわけではありません。どうぞご理解ください！

どうしても本当の事が言えなかったあの日、の場合

まだ共產圏時代に、某温泉ホテルで起こった出来事です。

朝お迎えに行きますと、お客様が大喜びでやってきます。

「いやぁー、本当にすばらしいですね、さすが温泉の国！部屋のバスルームの蛇口から茶色い熱い温泉水が出るんですからねー。こんな大きなホテルで、とても贅沢ですね！今朝もたっぴりと部屋のバススタブで温泉に浸かってきましたよ。疲れも取れたし、肌もつるつる、いやぁー、本当に若返った気分ですよー」

皆様にはお分かりですか？実は、ちょうど前日に水道工事がありまして、蛇口から出たのはさび付いた、茶色い水だったのです。あまりもの誉め言葉にどうしても本当の事が言えなくなってしまいました。

夏にホッカイロ？

時々お客様はとても不思議な情報を得てハンガリーを訪れます。その一つの代表的なものはハンガリーの気温じゃないでしょうか。今年も夏の観光シーズン中に来られたお客様に、合わせて86個のホッカイロをいただきました。「なぜ夏のヨーロッパにホッカイロをお持ちなんですか？」と聞きますと、たいいてい「いやぁ、ハンガリーはとても暗く、寒いイメージがあるからね。」と返ってきます。これは本当によく言われてしまうことですが、ハンガリーを愛する私はいつも悲しくなっています。確かに現在でも不景気で、問題が多く、けっしてどこでもサ

ービスが最高級とは言えないのですが、そんなに暗い国じゃありませんよ！街も地方もきれいで、見所がいっぱい、料理やワインだって世界一だと思っています。ハンガリーはとにかく哀愁があって、深さがあって、歴史があって、そしてとても楽しいところですので、どんどん旅行にいらして下さいね！

お読み下さった皆様もきっと色々な体験談をお持ちだと思いますが、ぜひこのような誤解話し、ちょっとしたハプニングなどをまとめて、後々には本にしたいと考えていますので、以下の住所にどうぞお寄せ下さい。お待ちしております！

Emerald Co., Ltd.

（通訳、翻訳、ガイド会社）

Kiss Reka Gabriella

Budapest, H-1112 Brasso u. 26.

TEL : 06-209-653-206

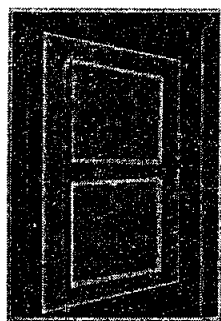
FAX : 319-5516

ハンガリーでの家探し

内田 浩子

私がブダペストの赴任したのは1月末、石造りの街はかなり寒々しい感じがする季節でした。用意されていた不動産屋の資料に目を通すことから家探しは始まりました。不動産屋は、皆、感じよく親切で、外国語を駆使して説明してくれました。

しかし、こと家探しについては、百聞は一見に如かずで、資料に記載されている場所や部屋の広さ、警備上の問題などによって希望物件を絞ることは出来ませんが、やはりこまめに足を使うのを厭うべきではないようです。その際、家主に実際に会って印象を確かめるのも重要です。物件によっては複数の不動産屋が仲介しているものもあるため、二度同じ物件を見ることのないように通りの名前や番号を控えておくのが良いようです。



さてここからは自分の経験と人の話を聞いたところを交えたお話です。いざ物件を決めたら、そこからが交渉術の見せどころです。まず、家具なし物件では提示されている賃貸料に少し上乗せして家具をつけて貰う方法もありますが、家主によっては、家具付きという条件を崩さないぞ、という強い態度を初めからとって家具をつけてもらうことも可能です。また決める前に調子の悪いところがないかを確かめ直してもらおうというのも重要なことだと思います。後になってのトラブルを防ぐためには、どのような家具や電気製品を

付けてもらうか、電気料金やガス料金はどのように払うかなど細かいことを話し合い、不動産屋が作成してくれる契約書に書いてもらおうと確実です。賃貸料は最大の関心事でしょうが、これは私の印象では提示されている額から大きく変動するようなことはないようですが多少の変動はあり得るようです。

さて最後に不動産屋との交渉ですが、不動産屋によっては交渉の最終段階で仲介料なるものを要求してきます。全く要求されない場合もあるようですが、普通は1ヶ月分の賃貸料を仲介料として要求されるようです。ハンガリーにはこのような規則は日本ほど確立していないらしく、「それは家主と不動産屋との間の話だ」などという最もらしい理由を盾にして交渉する人もいれば、まったく気にせず、感謝の気持ちを含めて仲介料を払い、安泰に交渉をすませる人もいて、双方共に態度はまちまちのようです。

芝生―8月に旅行へ行つた時のこと

秋山 和恵

ヘルシンキからエストニアのタリンへ向かうことになった。高速船で1時間半の楽しい時間だと思っていた。チケットを買い、船が来る迄はみんなとおしゃべりを楽しみ、船員の合図で船に乗り、前の方が空いていたので一番前へ行った。眺めはとても良く空は青い。カモメがたくさん飛び回り、なんだか幸せな気分だった。テンションもずいぶんあがり、かもめが飛んだ日」が私の口から出てしまった。「ずいぶん古い歌を思いついちゃったなあ。」と思ひながら歌ってしまったのだ。隣の人は「もっと新しい歌知らないのか？」と呆れていたが無視して最後まで歌ってやった。船が動き始めた。いよいよ「出港」の時間だ。なんとたつて新潟では佐渡へ行くフェリーに何回も乗ったことがあるんだから「船なんかヘッチャラ チャラ チャラ

さ。」とこのときまでは思っていたはずなのに：防波堤を出たらお尻が浮き始めた。なーんでこんなにゆれるんだー！嵐なのか？いや、空はとても青い。うわー止めてくれー！船が波の上でバウンドしてるー！まるで遊園地のジェットコースター並みだ。大袈裟でもなんでもない。ほんとうにバウンドしているのだ。のんびり歌など歌っている場合ではない。

この時になって初めて気が付いたのはなぜ前の席が空いていたのかだった。船は前の方が揺れるのだ。そうか！だから他のお客達は後ろの席に座っていたのか。しまった：と思ひながら、今からでも遅くはない。というところで私達はなるべく後ろの席に移動することにした。でも！だが！なんと！船のパウンドがひどくなり歩けない。震度6くらいの揺れなのだ。地震を体験出来る車に乗ったことがあるので嘘ではない。椅子につかまったり、手すりにつかまったりしながらやつのことで後部席に着いた。座って一息つい

たと思ったとたん頭が痛くなってきた。これはやばい。トットと寝てしまおうと、背もたれにもたれたとたん胃がムカムカしてきた。うわー気持ち悪い：気分が悪くてどうしようもないのだ。唾液が口の中に広がるので飲み込むが、だんだん怖くなってきた。イ



スのポケットに黄色いビニール袋を発見。体もだるくゆっくりとそれを手に取り膝の上に置いた。がその後すぐに胃の中のものが逆流してきたのであわてて口にあてた。何回も何回も、もどしてしまふ。もう吐き出すものが無くなっているのに「うっ」となるのだ。つらい……。そして苦しすぎる……。もういや。早く地上の生活に戻りたい。と必死に願ったが時計を見るとあと45分もあるのだ。そういえば「つわりって船酔いみたいなよねー」と誰かが言っていた。ゲーツ。つわりって、こゝこんなことが毎日続くのー！信じられない。実はわたくし、3人の子供がおりますが、つわりは全く経験したことがなく、夫から「妊娠体質」というレッテルをつけてもらったくらいなのだ。なんで妊娠もしていないのにこんなことになってしまったのだろうと、もうろうとしている意識でこんなことを思っていた。きっと4人目はや

めなさいと神様のお告げなのではないかと。でも、妊娠体質の私にはこんなことは無駄な戒めなのよー。神様、早くあきらめて元の身体に戻して下さい。とお願ひしたが時計の針はまだ10分も進んでいなかった。

そんなこんなでようやくタリンに着いた。空はやっぱ青かった。私の顔も……。まだ気持ち悪い。フラフラしながら1時間くらい歩いた。が、気分

は全く良くならない。もう、どうしようもなくとにかく公園の芝生の上でうつ伏せになり思い切って……。寝た。タリンの素晴らしい風景なんかよりあの芝生が一番の思い出になったことは言うまでもない。今思うとすっごく恥ずかしいけれど天国にいるようなそんな気分だった。この時見た夢の中の私は4人目の子供を抱いていた……。かどうかは定かではない。



観賞：グルベローヴァと米良良一の

「ドゥユエットの夕べ」

盛田 常夫

10月5日、オペラハウスの演物。全盛期を過ぎたとはいえ、当代を代表するコロラトゥーラ・ソプラノ歌手が日本人歌手と共演するというので、会場は多くの在留邦人を含め、満席。そうでなくてもハンガリー人の血が混ざっているグルベローヴァの人氣は高く、コンサートはいつも熱狂的なファンで埋まるが、今回はとくに希少価値となったカウンター・テノールとのドゥユエットとあって、前評判は上々だった。「メトロポリタンでも観賞できないプログラム」と期待する観客の会話に思わず苦笑した。

ソプラノとカウンター・テノールのドゥユエットと曲は数多くなく、パッ

ハやヘンデルの作品が中心。今ではめったに聞けないプログラムで、珍しさも伴って、満喫できた。米良の声質からして、静かに奏でる古典的なカンタータが良いのだろう。

後半のロッシーニのオペラでは米良がアルト部分を歌うことになるが、こうなると音域の広さは感じられるが、声量の不足がはつきりする。もっと力のあるテノールが聞けるのかと思っていたが、ここはやや期待外れ。体が小さいので、声量に絶対的な限界があるのだろう。オペラでは声量だけでなく、見栄えも要求されるから、体が小さい日本人は出演の機会が限られるだろう。だから、この種のコンサートの方が力量を訴える場として相応しいといえる。

やっぱり圧巻はグルベローヴァの十八番中の十八番、「ルチア」。「狂乱の場」のアリアは昨年のリサイタルに続いて2度目だが、何時間聞いても聞かせる。その場ですぐにアンコールとなった。パワーで押すマルトン・エヴ

ァとは対照的に、繊細に歌い上げるコロラトゥーラは何時間聞いても心地よい。ワーグナーのマルトンとドニゼッティのグルベローヴァはあらゆる面から対照的だ。この二人を比較すると、ソプラノのまったく違った音質とテクニークがはつきりするから、興味深い。ちなみに、マルトンは新春の「ニibelングの指輪」の第4日目「神々のたそがれ」に出演の予定。

グルベローヴァはハンガリー人の母とドイツ人の父をもつスロバキア出身の歌手。日常会話程度のハンガリー語を話す。指揮を担当していたのがご主人。で、一緒になって、名の知れない「ナイチンゲール」というグルベローヴァ専属のレコーディング会社のCD製作をおこなっている。春には、コンGRESホールで「コウモリ」のライブ・レコーディングがあった。ハンガリーは人件費や会場費が安いからだろうか、今回もハンガリーの混成オケを使って、ライブ・レコーディングとなった。

雑記帳 1

横田みきえ

*日本の新聞から

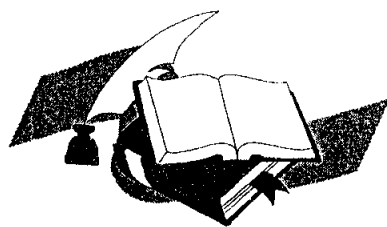
宿泊した宿がオペラ近くの4つ星のペンション・ホテル。1泊140マルクほどの宿だ。5つ星のホテルに長期滞在して憚らないどころかビジネスマンと違い、文句を言わないところが偉い。というか、これが欧米のふつうの感覚かも。ここは見習いたい。以前にブリュッセルでジョージ・シヨロシュとハンガリー関係の会議で一緒になった時のことだ、彼は他の参加者と同じビジネス・ホテルに宿泊していた。ヘッジファンドの総帥でも、無駄なお金を使わないというのは流石。公的資金を受け入れるところは心して欲しいものだ。

でも、誰がこのプログラムを企画したのだろう。来年からこの二人がヨーロッパツアーの予定というから、趣味の悪い3大テノールに嫌気がさしている聴衆に訴えるのだろうか。

今年7月の朝日新聞に、森茉莉の『贅沢貧乏』が復刊されたという記事が出ていた。私の昔からの座右のひとつなので、とても懐かしい気がした。『贅沢貧乏』は、森鷗外の長女である、小説家でエッセイストの森茉莉が、1960年（昭和35年）当時、上に赤字がつくほどの貧乏ではあるが（自称）、貧乏くささが大嫌いで、6畳のアパートで、日常の紅茶茶碗から、バスタオル、本棚の本の装丁にいたるまで、自分の美意識に合うものだけに囲まれて、小説を書いていた時代のことを書いたエッセイ、だと思っていたので、朝日で、「6畳のアパートに住みながら、スタンドから紅茶の缶まで好きなものに囲まれ、自分の楽しみを見つけて暮らす女性の物語」と紹介されていたのには驚いた。しかし、バブル

期以後の日本で、「自分流の豊かさを求め」、シンブルライフを求める若い女性たちの希望で、『贅沢貧乏』が復刊されたのは、偶然ではない。私たちが、人間としてちょうど良い生活をしていくためには、何事も、一人一人が、自分の美意識を通して決定して行くしかないと思う。また、『贅沢貧乏』というタイトルの素敵だ。

森茉莉は、黒猫ジュリエットと住んでおり、猫の美しさに見惚れる。上に赤の字のつくほどの貧乏でも、新聞6紙を毎日読み、切り抜きもかかさない。積み上げられた新聞の上には、夕食の材料となるキャベツがのっかっている『贅沢貧乏』の風景。



「誰にも分かる経済解説」

ロシア危機とマネーゲーム

盛田 常夫

デフォルトは夜逃げ

一昔前、サラリーマンの娯楽といえば、麻雀と決まっていた。高度経済成長の果実が実り、生活が豊かになり、娯楽の種類も増えるまで、スポーツといえど野球、ギャンブルといえど麻雀と決まっていた。その頃よく耳にしたのは麻雀夜逃げ。毎晩毎晩、仕事仲間と賭麻雀。大概が即金払いでなく、帳面に付けて給料日に決済する。負け込むと、給料でも足りなく、翌月の給料日まで繰り越され、借金が累積する。こうなると一家破産になるのは目に見えているのだが、勝った時の味が忘れられないのが、ギャンブルの魔力。いつか必ず取り戻して見せるという果てしない期待が、借金地獄に向かわせる。挙げ句の果てが、夜逃げ。これが

デフォルトの手段だった。

弱いものを食い物に

賭事や株式・債券投資には普遍的なルールがある。ゲームを面白くするためには常にふんだんにお金が必要でなければならぬ。みんな同じレベルで、一定の期間をとればとんとんになってしまふのでは賭事（投資）として魅力はない。大きく勝つ者、大きく負ける者がいてゲームが成り立つ。

しかし、最初から負けることがわかってゲームに参加する馬鹿はいない。そのためにゲームとして体裁が必要だ。参加者（市場）の厚み（流動性）をつけるために、多様で多数の参加者を募らなければならない。つまり、負ける人がいつも同じでなく、勝つ人も毎回変わるように、ゲームの場を作る。

しかし、長期的に平均すれば、技量のない者が負け、技量のある者が勝つ。ゴルフでも麻雀でも同じだ。とに

かく、負ける人がいなければ面白くないのがギャンブル。

ロシア経済は破産状態

1997年のロシアの経済成長は辛うじて＋1.0%になったといわれたが、ロシア産業の破壊プロセスは止まっておらず、GDPが－1.5%か－2.0%かの議論は無意味。これは測定誤差の範囲。一部のアナリストはこれをロシア経済の復興の兆候として、ロシア経済の安定化を唱えたものだが、私は一貫してロシア経済は「体制崩壊恐慌」状態にあるという判断を変更していない。

国営企業が軒並み破産し、残った企業も四苦八苦。資源でお金を稼げる独占企業は半官半民企業で、実体は一握りの旧エリート支配層が牛耳っている。ハンガリーの半国営銀行ボシュタ銀行に見られる無責任経営がロシア全土に展開されているのが今のロシア。ロシア連邦政府の歳入はGDPの8

%前後。社会主義時代はこれが80%前後だったのだから、完全に財政崩壊状態なのだ。だから、財政赤字を国外の資金に頼らなければならない。そこに、国際金融投資家とロシア政府の利害が一致した。さあ、一緒に麻雀をやるうと。ただし、「僕には資源という資産はあるが、キャッシュはない。お金を貸してくれるならやろう」というのが、事の始まりだった。

G K Oという賭博

I M Fや国債投資家の後押しもあり、ロシアは、短期国債（G K O）市場を外人投資家に解放した。総額600億ドルの市場規模のうち、こまどほば200―250億ドルまで外人投資に道を開いた。G K Oはルーブル建て。発行当初はG K Oをロシアの銀行に保持させ、併せて銀行の体力をつけさせるために、かなり高利に利回りを設定したり、インフレ率をはるかに上回る利回りを保証した。これが呼び

水となって、外人投資家がハイリターンを求めて、ロシア市場に参入してきた。

1996年よりロシア政府は外人投資家の流入資金を目当てに、財政計画を立案してきた。アメリカ財政だって、日本からの国債投資で支えられているではないか、というわけである。しかし、経済の体力が違う。外人の投資がなければ、財政のやりくりができないわけだから、外人投資を呼び込み、これを逃がさないために、経済危機が表面化し、投資家が逃げ腰になるごとに、途方もない高利を提示して、つなぎ止めるのに躍起になってきた。こうなると、やがて国債の金利支払いだけでも、歳出の半分近くを占めるようになった。人からお金を借りて、これを期限がきている返済に充てるのだから、これはサラ金地獄に近い自転車操業だ。こんな仕組みが長続きするはずがない。住専と都市銀行の関係もそうだった。

誰が悪い

夜逃げした方が悪いのは良く分かる。だけど、払えなくなることが分かっているながら、信用を与え続けた人はどうなのだろう。麻雀に誘った方が悪いのか、誘われた方が悪いのかという問題と同じ。

ロシアはけしからんという人もいるだろうが、ロシアに投資していた投資家（機関投資家、欧米の投資銀行、ヘッジファンド）はG K Oのハイリスクを承知していなかったはずはない。ロシアに入ったポートフォリオ投資の大半は、ハイリスク―ハイリターンを求めた投資であつたはず。ドル建てで年間15―20%も儲かる債券など、ふつうの投資では考えられない。それを承知でお金を回していたわけだから、これは自業自得というものだろう。

ババ抜き原理

それにしても、プロであるはずの投資銀行が軒並みやられた。野村ロンド

ンもおよそ3億ドルの損失を計上した。おっと、これは一体どうしたことだろう。

ババ抜きを想像すれば良い。G K Oはババ。ババを持っていれば、高い収益が得られる。しかし、ゲームの終りにババを抱えていたら、その分が丸損になる。だから、いつまでババを抱え、いつの時点でババを売り払うかが投資の判断になる。チェコの銀行などは、欧米の投資銀行から、G K Oとアメリカ国債をパッケージにした商品を買わされ（進んで買って）、結局大損した。

欧米の投資銀行はこういう高いリタインの商品は、自己勘定（自分の手金）で買い、必要に応じて顧客に販売してきた。売れなくても、高いリターンがあるから、手持ち在庫として抱えても良いわけだ。しかし、ロシアが事実上のデフォルトを宣言したところで、G K Oのマネーゲームが終わり、その時点で保有していた在庫分が丸々ババ

になった。事の本質はこれに尽きる。

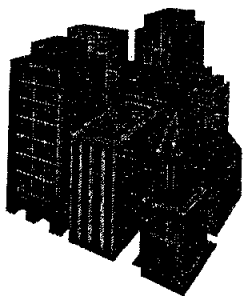
儲けた人は沈黙を守る

もちろん、ババを売り抜けた人は儲けた。バブルの時に不動産をべらぼうな価格で売り抜いた人と同じ。儲かった方は文句は言わないから、新聞記事にはならない。損をした分だけが誇張されて記事になる。

計上されるのは手持ち在庫の評価損だが、そこにはこれまで獲得したリタインは計算されていない。収益は収益で過去に処理されている。だから、ロシア投資の期間損益計算は1時点だけの評価損では測れないが、過去の利益はすでに配分されて手許にないのだから、損は損で処理しなければならぬ。儲けた人は返してくださいというわけにはいかない。それではゲームにならないからだ。

それじゃ、長銀役員の退職金返還はどうなのだろう。長銀の場合はマネーゲームじゃない。経営者が経営責任を

とって、功勞として与えられた退職金を返還するのは論理的な整合性がある。政權が代わって解任されたポシュタ銀行の旧経営陣は、1000億Ftの累積損失の責任をとらされ、退職金は支払われないことになった。というのも、プリンツ・ガール（前ポシュタ銀行頭取）の月収は何と880万Ftだったらしいから、俸給から損失補填をしてもらう必要があるほどだ。ミスター住専の庭山氏も不承不承、自宅を売り払って、倫理的な責任の一部をとった。プリンツ他の経営者は背任で刑事責任も取りざたされているが、ここはハンガリーの弱小検察の腕前を見せてもらいたいものだ。



ひ 掲 示 板

★帰国のため譲ります。

・三菱スペースギア (ONE BOX)

8人乗り、Full Option、

V-Number、アルミホイール、スノ

ータイヤ4本、INOSキーラック

(5本搭載可)、INOLーフキャ

リアー専用金具、1997年7月登

録、1万5000km

・VW POLO 1400CC、

DOHC 16V、101馬力、

Full Option、スノタイヤ4本、

1997年9月登録、3万km

・電気製品 (TV、衛星セット

／DECODER) ・家財道具 (冷蔵庫、

その他)

連絡先・須藤 365-4258

★邦人社員募集

ベルハウスでは、業務拡張のため、
ツアー・オペレーターを募集します。

詳しくは、お電話でお問い合わせの上
履歴書を (任意) をご持参下さい。

条件 短大若しくは専門学校を卒業さ

れており、ハンガリーに長期間在住さ

れる三十歳までの女性。コンピュータ

ー、英会話、及び邦文書の作成等に経

験又は素養のある方 (ハンガリー語は

問いませんが、専業職または学業をお

持ちでない方が対象です)。給与その

他、相談に応じます。

会社概要 設立1993年5月8日。

グループ資本 千二百万円。

ハンガリーでは初の企業／各省官庁を

専門とする総合旅行代理店。航空券、

列車乗車券、ホテル、パッケージ・ツ

アー等の予約販売、企業及び国際単位

での観光サービス／カンファレンス等

の催行。航空券業務では代理店二百社

中、企業向発券総数及び日本向発券総

数、航空運賃平均割引率等で第一位。

TEL: 266-13564 (的場)

編集室より

今号は大使初め、多くの方から原稿
をいただきました。ありがとうございます。
ます。

次号でも皆様の原稿をお待ちしてい
ます。近況報告、エッセイ、生活情報
など身近な話題をご提供ください。
FAX、e-mailでも送信ください。

TEL/FAX: 266-4967

e-mail: t-morita@hungary.net

次号の原稿締切は、12月20日とさせ
ていただきます。

